

経験者採用

入省者インタビュー vol.3 (行政)

主な経歴

- 自動車関連会社でシステム開発に従事
- 学生時代から「まちづくり」に興味があったことや、子供に誇れる仕事がしたいという理由で転職
- 令和2年4月 中部地方整備局 採用
- 令和3年 第三子が生まれたため、育児参加休暇を取得

【現所属】三重河川国道事務所
用地第一課 係長



八島 誠さん【採用3年目】

これまでどのような仕事をしてきましたか？

一年目は総務・経理の仕事をしていただきました。毎月の給与計算などの定例的な仕事のほか、毎日違う仕事をしてきた印象があります。経理の仕事は、これまで触れたことのない会計法などの法律知識が必要になるので毎日が必死でした。

どれくらい慣れてきましたか？

そうですね、半年くらい経ってからようやく慣れてきたかなと実感しました。初めは単語や用語がわからなかったのですが、周りの方にいろいろと教えていただきました。聞いたら親切に教えてくれる環境があることは非常に助かりました。

これまで人生経験を色々されている中で、なぜ転職しようと思われたのですか？

私の場合は平成19年の能登半島地震の時にボランティアで石川県に行った経験があって、防災事業に携わることができるということに魅力を感じて試験に申し込んでみました。

入省前と実際の業務でギャップは？

マイナス面でのギャップは本当に感じなかったです。強いてあげるとするならば、扱う法律の量が多いことですね。現在の用地業務でも様々な法律を扱うのですが、幅広い知識が身につきますし、3年目の今でも知らないことがたくさんあります。幅広い法律を勉強できるのは魅力の一つだと思っています。

プラス面でのギャップはたくさんありますが、特に感じたのは休暇が取りやすいことですね。2年目の時に第三子が生まれましたが、その時は育児参加のための休暇をたくさん取らせていただきました。これまでの職場だったら入社して2年目で長期の休暇を取るなんて考えられなかったので……。

入省時の役職として係長、そのあたりでプレッシャーを抱えていることはありますか？

それはたしかにありましたね。入局して右も左もわからない中、係長ですからね。けれどもそれも周りの職員に助けられました。また、自分自身は部下に対しての指示を出すのが苦手と思っていましたが、業務を円滑に進めるために必死で勉強しているところです。

職場の雰囲気・働きやすさはどうですか？

これは本当に満足しています。特に前職と大きく違うのは周りの職員の温かさですね。先ほども話しましたが、わからないことを気兼ねなく聞くことができます。経験者採用者の座談会があり、相談事を共有できるような環境を整えてもらっています。正直言って働きやすい職場だと感じています。

給与・収入面、そのあたりは？

私の場合は前職よりもお給料は多くなりました。面接の時に収入の概算についての説明を聞いていたので予想していましたが、手当が充実していることも非常に助かっています。

家での生活に変化はありましたか。

ありました。子供が急遽体調を崩したときなど、休暇を取って私が病院に連れて行けるようになりました。家族は特に喜んでくれています。また、中部地方整備局に入局して初めてテレワークをやりました。子供と接する時間が増えたことはとても嬉しいですね。最近では子供が中部地方整備局というワードを覚えてくれるようになりました笑

今回大きな人生の選択の一つするにあたって、ご家族には相談はしましたか？

はい、しましたね。以前は帰宅が深夜になることがあったので、家族からは国家公務員になることに賛成してきていました。前職は全国転勤だったこともありましね。採用の内定をいただけたときは家族全員で喜んでくれました。

実際今回転職してみて、選択に後悔はありませんか？

後悔はまったくないです。転職して良かったと心から思っています。特に子供に自慢できる仕事であること、これは非常に大きいと思います。

今後何か、中部地方整備局で挑戦してみたいこと・携わってみたい仕事はありますか？

そうですね。一度経験してみたいと思うのは、学生時代から興味があった、「まちづくり」関係の仕事ですね。地域の歴史やそれぞれの特色を生かしたまちづくりに携わることができるのは、中部地方整備局の魅力でもあると思います。今は用地業務をやっていますが、どの仕事であっても国民の生活に直結する魅力ある仕事だと思いますので、どんな業務でも頑張りたいです！

今、中部地方整備局を受験しようと思われている方に対してアドバイスはありますか？

家族に誇りをもって自慢できる仕事であるということは間違いないと思います。現在3年目ですが、規模が大きい事業に携わっているという満足感を持って働くことができます。不安も多いと思いますが助けてくれる周りの職員もいます。経験者採用で入局した職員も全力でフォローしていきますので、この記事を読んだ方と一緒に働ける日が来ることを楽しみにしています。

本日はお話を聞かせて頂き、ありがとうございました。ありがとうございました。



聞き手: 人事課企画係長 松宮

インタビュー R4.5.25

